

# すなだ竜一

市議会だより 2026年春号



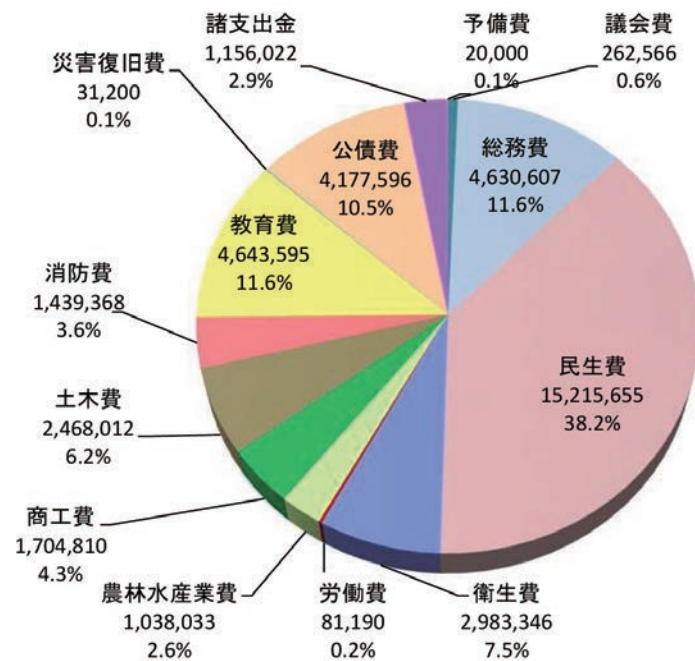
TEL.090-2377-3396 E-mail:sunaryu2000@gmail.com

## 越前市 市政・議会トピックス

### 平林新市長誕生！ 新年度予算は「骨格的」予算編成

令和8年度当初予算案は、今年2月に市長選挙が実施されたことから、例年の通年型の予算編成ではなく、昨年度からの継続的な事業や既に実施が決定している事業を中心に、市民生活の維持にあたり緊急性・必要性の高い事業や、国制度改正への対応など一定の政策性はあるものの年度当初からの執行が必要となる事業等もあわせて計上し、市政及び市民生活への影響を最小限に抑え、切れ目ない行政運営を行うため「骨格的予算」を編成しています。「骨格的予算」の主要施策は、国の財源や交付税措置のある有利な起債などを効果的に活用するため、国の「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太の方針）」を踏まえ、①安全・安心、災害に強いまちづくりを推進する取組み、②こども・子育て世帯への支援、③市民活躍を支える取組み、④DX等の推進を柱としています。

令和8年度 当初予算概要はこちらから（ダウンロードへ）



### 2025年度 越前市議会の取り組み

#### 委員会のネット配信

現在、常任委員会のネット配信について検討しています。これまでは、傍聴でしか見ることのできなかった常任委員会での協議をネット配信で見ることが出来るように進めています。3月議会にて施行し、6月議会での配信を目指しています。



#### 議員の服装自由化

市議会における服装自由化を進めています。地球温暖化対策としてのエコスタイル実施と共に、市職員が既に服装の自

由化を実施しているように、議会の自由闊達な議論風土を醸成することとも確認しました。議員としての品位を保つための注意点を整理すると共に、議員間協議での議論を深め、実施方法や実施時期の検討を進めています。



#### 政策研究活動

議員の政策提案につながるような政策研究活動について、先進事例の取り組みを参考に、調査を進めてきました。議員政策研究会制度の創設を視野に、制度設計を含め所要の調整を図っていくことの合意が得られました。今後、議員間協議により議論を深め、実施に向け検討を進めていきます。

# すなだ竜一 議会一般質問



## ◆12月議会【会派代表質問】

12月議会では、会派「市民ネットワーク」の会長として代表質問を行いました。市長の政治姿勢や少子化対策、駅周辺開発、教育や農業政策など、幅広く8項目の質問を行い、様々な市民サービス向上を要望しました。

### 越前たけふ駅周辺の開発ビジョン

**Q** 今後の開発ビジョンは。

**A** 福井村田製作所に続く高度な技術拠点の誘致、「アート＆クラフトミュージアム」整備の働きかけ、食と農の人材育成拠点の整備、温浴・飲食施設の立地など、今後10年を見据え、企業の研究開発拠点や人材育成拠点を集積し、多彩で創造的なエリアとして発展させたい。

### 市民の幸せ実感のふるさとづくり

**Q** 山田市長の今後の抱負は。

**A** 越前たけふ駅周辺の創造拠点化、歴史と文化の推進、子育て・教育日本一、脱炭素・オーガニックシティ、行財政システム改革など、「生まれてよかった、住んでよかった、帰ってきてよかった」と思えるまちを市民の皆さんと共に築いていきたい。

### その他の質問

- 子育て支援の充実による少子化対策
- 公共施設の老朽化と持続可能な管理運営
- 公共交通網の再構築
- 地域ブランドの推進による地域活性化
- 持続可能な農業政策
- インクルーシブ教育の推進

## ◆3月議会

### 「就職活動と保育所入所 ～女性の就労とジレンマ～」

**問** 出産後の就職活動において、子どもの保育所入所が条件に挙げられる。しかし、保育所入所には就労証明が必要であり困っている市民がいる。この場合、どのようにすればよいのか？

**答** 一時預かり事業の利用や、可能であれば、市外の園への入園を検討いただくことも案内している。なお、入園保留となった場合でも、随時入園の再調整を行うため、家族の状況が変わった際には市にご連絡をいただくよう依頼している。

**問** 一時預かりサービスを行っている事業所の説明を

**答** 「一時預かり事業」は市内全ての園、合計25園及び民間幼稚園1園にて、可能な範囲で、半日、1日単位で預か

りを実施。「すみずみ子育てサポート事業」については、本市民が利用可能な事業所が、市内に3箇所、鯖江市に2箇所あり、1時間単位で預けることが可能。

### 「子どもの医療体制の強化 ～夜間・休日小児医療の確保～」

**問** 子どもが夜間や休日に急病になった場合、受け入れできる小児医療が丹南地区に存在しない。新たな小児医療拠点の整備や、オンライン遠隔健康医療相談サービスの導入など、子ども医療体制を強化する新しい子育て支援策を要望するが、本市の考えは？

**答** 新たな拠点整備には、小児科医の確保や財源、県の医療計画上の位置づけといった課題がある。オンラインでの遠隔健康医療相談サービスの導入については、他自治体の事例も踏まえ、今後の子育て政策の一つとして研究する。市民が迷わず適正な救急相談・受診ができるよう周知に努めるとともに、引き続き県に対し、丹南地域の小児医療体制を含む地域保健医療施策の充実を要望していく。

### 「その他の質問」

- 企業・商業施設誘致における土地確保の重要性

## 2025年 主な経歴 「砂田 竜一」

- 越前市議会議員(2期目)  
(2026年3月現在)
- 会派「市民ネットワーク」会長
- F-TOP21  
(福井総合政策フォーラム21) 議員団
- 武生東高等学校PTA会長
- 越前市子ども会育成  
連絡協議会 理事
- 武生西地区体協理事

昭和51年9月生まれ  
(満49歳)

